

## SC販売統計調査報告 2019年7月

### 既存SC前年同月比 : ▲3.1%

#### 梅雨明けが遅れ気温上がらず全国的に厳しい結果

##### <全体概況>

・7月度の既存SC売上高はセールを実施するSCが多い中で、梅雨明けが遅れ、気温の低い日が続いたことなどで夏物の衣料品やビール等の飲料品をはじめとした夏物商材の需要が低迷したことや、休日日数が前年より1日少なかったことなどが影響し前年同月比▲3.1%と6ヶ月ぶりに前年を下回る厳しい結果となった。

・立地別・構成別(表1)をみると、全ての立地でテナント、キーテナント共に前年を下回り全国的に厳しい結果となった。総合ではテナントが▲2.4%、夏物商材の不振に加えて青果の相場安の影響もあったキーテナントが▲6.2%とキーテナントの苦戦が顕著だった。なかでも周辺地域でキーテナントをもつ196のSCのうち、前年を上回ったのは13SCに留まり残りの183SCは前年比マイナスと業態を問わず全体的に不調で▲6.6%と前年を大きく下回った。

・立地別・地域別(表2)をみると、全9地域中8地域で前年を下回った。なお、中国地方は総合で+0.3%と前年並みだったが、前年の7月が西日本を中心とした豪雨の影響による臨時休館や営業時間の短縮などのため▲11.3%だったことを踏まえると、2年連続で厳しい結果となった。

・都市規模別・地域別(表3)をみると総合で大都市は▲3.0%、その他の地域は▲3.3%で両者ともに前年を下回った。大都市は前年の豪雨の影響の反動もあり西日本で前年を上回る都市がいくつかみられたものの京都市から東に位置する都市では前年を3%以上下回る結果となった。その他の都市では全国的にGMSやSMなどのキーテナントが不調であった。

・業種毎の販売動向をみると、好調と回答したSCが最も多かった業種は飲食であった。一方で不振との回答が多かった業種は梅雨寒の天候が長引いた影響を受けた衣料品であった。

※調査サンプル数:503SC (回収率50.3%)

※本調査は、2017年12月末現在の全3,217SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、集計・算出しています。

※2019年1月以後、本調査の売上高は消費税抜で集計・算出しています。(2018年12月以前の調査は消費税込)

※2018年12月以前の調査(消費税込)には、一部消費税抜の調査サンプルが含まれます。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント
総合	503	▲3.1	▲2.4	▲6.2
地域中心	大都市	▲1.8	▲1.7	▲3.1
	中都市	▲2.6	▲2.2	▲4.9
	小計	▲2.0	▲1.8	▲3.9
周辺地域	365	▲3.7	▲2.7	▲6.6

(注)

##### ■立地

中心地域:人口15万人以上の都市(東京23区を含む159都市)で、商業機能が集積した中心市街地  
周辺地域:上記中心地域以外の全ての地域

##### ■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市  
中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

立地(SC数)	地域	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄
			SC数	伸長率	伸長率	伸長率	伸長率	伸長率	伸長率	伸長率	伸長率
総合	503	▲3.1	▲3.8	▲2.5	▲3.4	▲4.3	▲3.8	▲2.4	0.3	▲7.4	▲2.5
中心地域	138	▲2.0	▲4.1	▲1.8	▲2.7	▲1.9	▲0.5	0.2	▲2.1	▲3.2	0.4
周辺地域	365	▲3.7	▲3.1	▲2.8	▲3.7	▲4.9	▲4.7	▲3.2	1.4	▲8.1	▲4.3
	(SC数)	503	16	32	204	58	32	88	27	12	34

(注) ■地域

北海道:北海道

東北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北陸:新潟県・富山県・石川県・福井県

中部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別  
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	503	▲ 3.1	▲ 2.4	▲ 6.2	
大 都 市	札 幌 市	11	▲ 3.4	▲ 3.4	-
	仙 台 市	5	▲ 3.2	▲ 3.2	-
	千 葉 市	7	▲ 5.1	▲ 5.1	-
	東 京 区 部	56	▲ 4.2	▲ 4.0	▲ 5.0
	横 浜 市	18	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 4.5
	川 崎 市	8	▲ 4.0	▲ 3.9	*
	名 古 屋 市	12	▲ 3.5	▲ 3.8	▲ 2.4
	京 都 市	7	▲ 3.8	▲ 2.7	▲ 5.7
	大 阪 市	20	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 6.9
	神 戸 市	17	2.5	4.9	▲ 10.6
	広 島 市	8	0.1	▲ 0.2	*
	北 九 州 市	2	*	*	*
	福 岡 市	8	0.3	0.5	*
	小 計	179	▲ 3.0	▲ 2.6	▲ 5.2
	そ の 他 の 地 域	北 海 道	5	▲ 5.3	▲ 5.4
東 北		27	▲ 2.2	▲ 0.4	▲ 6.2
関 東		115	▲ 2.5	▲ 1.6	▲ 6.1
中 部		46	▲ 4.6	▲ 4.0	▲ 7.0
北 陸		32	▲ 3.8	▲ 2.9	▲ 5.2
近 畿		44	▲ 4.3	▲ 2.8	▲ 7.8
中 国		19	0.4	3.3	▲ 7.7
四 国		12	▲ 7.4	▲ 6.0	▲ 8.7
九 州・沖 縄		24	▲ 4.5	▲ 4.3	▲ 4.9
小 計	324	▲ 3.3	▲ 2.2	▲ 6.6	

※「その他の地域」には、大都市は含まない。

\* : サンプルが少数のため個別の値は公開していない。

表-4 キーテナント業態別  
売上高伸長率

キー業態	SC数	%
総 合	503	▲ 3.1
核なし	284	▲ 2.0
1 核	Dpt	13 ▲ 5.5
	GMS	114 ▲ 4.8
	SM	39 ▲ 2.5
	SS	1 *
	HC	1 *
	専門店	6 ▲ 6.1
	生協	5 ▲ 7.8
	Dgs	2 *
	小 計	181 ▲ 4.8
	2 核	31 ▲ 3.2
	3 核 以上	7 ▲ 5.0

\* : サンプルが少数のため個別の値は公開していない。

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積		売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均面積 (㎡)
			(千円)	前年比	(実効 ㎡)	前年比			
SC総合	総合	503	552,636,166	▲ 3.1	10,128,390	0.1	1,098,680	180	20,136
	中心地域	138	178,446,750	▲ 2.0	1,905,314	0.2	1,293,092	309	13,807
	大都市	68	122,563,850	▲ 1.8	1,098,538	0.3	1,802,410	368	16,155
	中都市	70	55,882,900	▲ 2.6	806,777	▲ 0.1	798,327	229	11,525
	周辺地域	365	374,189,416	▲ 3.7	8,223,075	0.0	1,025,176	150	22,529
テナント	総合	503	444,016,881	▲ 2.4	7,496,830	0.2	882,737	195	14,904
	中心地域	138	159,925,663	▲ 1.8	1,688,940	0.2	1,158,882	312	12,239
	大都市	68	112,884,579	▲ 1.7	1,022,711	0.3	1,660,067	364	15,040
	中都市	70	47,041,084	▲ 2.2	666,230	▲ 0.1	672,015	233	9,518
	周辺地域	365	284,091,218	▲ 2.7	5,807,889	0.2	778,332	161	15,912
キーテナント	総合	219	108,619,285	▲ 6.2	2,631,560	▲ 0.4	495,978	136	12,016
	中心地域	23	18,521,087	▲ 3.9	216,374	0.0	805,265	282	9,408
	大都市	6	9,679,271	▲ 3.1	75,827	0.0	1,613,212	421	12,638
	中都市	17	8,841,816	▲ 4.9	140,547	0.0	520,107	208	8,268
	周辺地域	196	90,098,198	▲ 6.6	2,415,186	▲ 0.4	459,685	123	12,322

注:売上高(総合)は、調査対象503SCの合計値です。

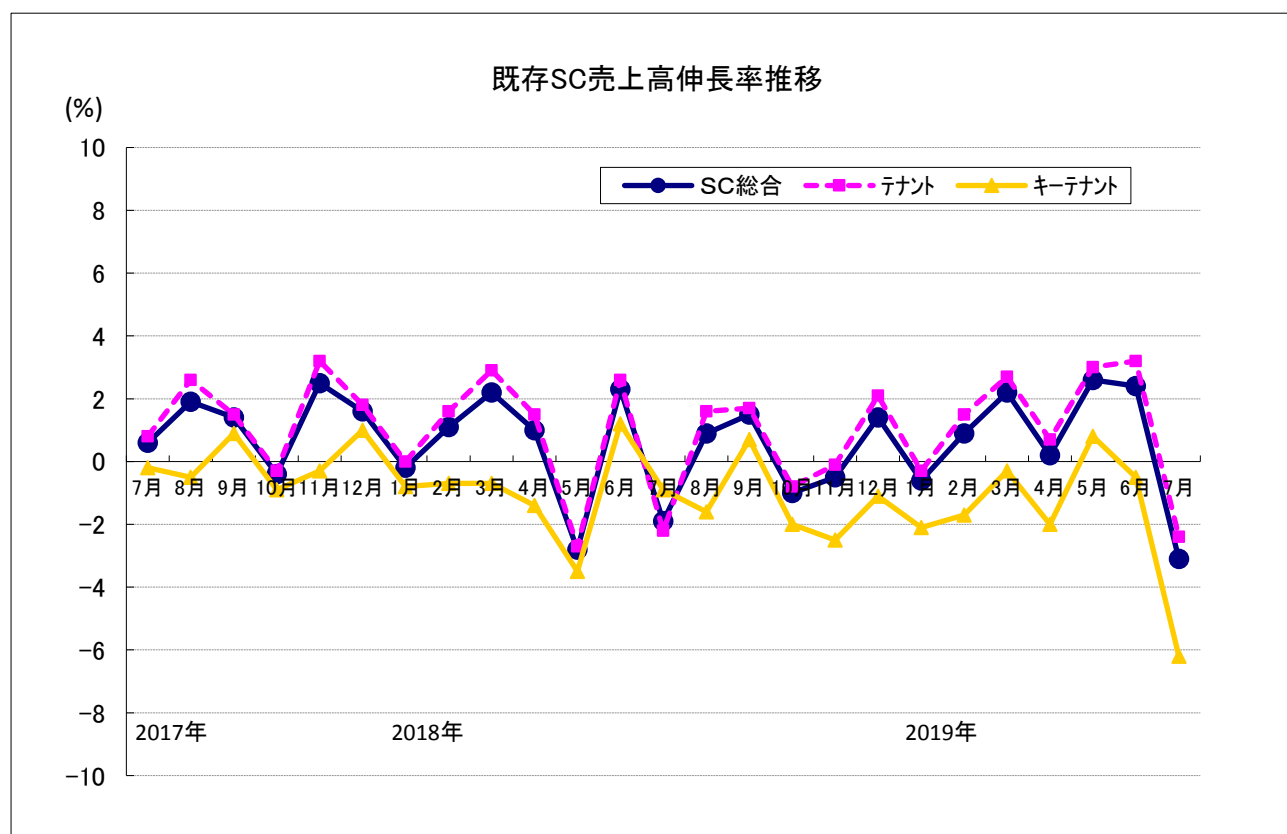


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 2.2	▲ 5.1
	01年	▲ 2.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 5.2
	02年	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.1
	03年	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 3.2
	04年	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.5
	05年	0.3	1.5	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 2.6
	06年	0.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 2.7
	07年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.4
	08年	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 4.3	▲ 0.7
	09年	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 10.1	▲ 4.3
	10年	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.6
	11年	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.8
	12年	0.5	1.5	▲ 1.6	0.3	▲ 1.9
	13年	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.3	1.6	▲ 0.7
	14年	0.1	0.5	▲ 0.9	0.3	▲ 0.6
	15年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7
	16年	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.9	▲ 0.4
	17年	0.6	1.0	▲ 0.9	0.1	▲ 0.9
	18年	0.6	1.0	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 0.2
2018上半期	(1～6月)	0.7	1.1	▲ 0.8	0.0	▲ 0.3
2018下半期	(7～12月)	0.4	0.8	▲ 1.0	▲ 1.5	
2019上半期	(1～6月)	1.3	1.7	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.3
2018四半期別	(1～3月)	1.2	1.7	▲ 0.6	▲ 0.7	0.6
	(4～6月)	0.2	0.5	▲ 1.1	0.6	▲ 1.2
	(7～9月)	0.1	0.3	▲ 0.6	▲ 3.4	1.1
	(10～12月)	0.3	0.8	▲ 1.5	0.0	▲ 1.3
2019四半期別	(1～3月)	0.9	1.4	▲ 1.4	▲ 0.9	▲ 1.8
	(4～6月)	1.7	2.1	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 0.7
2018 月別	1月	▲ 0.2	0.0	▲ 0.8	▲ 1.2	0.6
	2月	1.1	1.6	▲ 0.7	▲ 0.9	1.3
	3月	2.2	2.9	▲ 0.7	0.1	▲ 0.1
	4月	1.0	1.5	▲ 1.4	0.7	▲ 1.2
	5月	▲ 2.8	▲ 2.7	▲ 3.5	▲ 2.0	▲ 2.3
	6月	2.3	2.6	1.2	3.1	0.1
	7月	▲ 1.9	▲ 2.2	▲ 0.9	▲ 6.1	1.5
	8月	0.9	1.6	▲ 1.6	▲ 0.2	0.1
	9月	1.5	1.7	0.7	▲ 3.0	1.9
	10月	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 2.0	1.6	▲ 0.7
	11月	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 2.5	▲ 0.6	▲ 2.5
	12月	1.4	2.1	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.7
2019 月別	1月	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 2.1	▲ 2.9	▲ 3.4
	2月	0.9	1.5	▲ 1.7	0.4	▲ 2.5
	3月	2.2	2.7	▲ 0.3	0.1	0.5
	4月	0.2	0.7	▲ 2.0	▲ 1.1	▲ 1.0
	5月	2.6	3.0	0.8	▲ 0.8	▲ 0.7
	6月	2.4	3.2	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 0.7
	7月	▲ 3.1	▲ 2.4	▲ 6.2	▲ 2.9	▲ 7.1
出典	日本ショッピングセンター協会			百貨店 協会	チェーン ストア協会	